



彩の国  
埼玉県

# 子供安全見守り講座テキスト

携帯電話・スマートフォン等、  
インターネットの危険性と保護者の役割



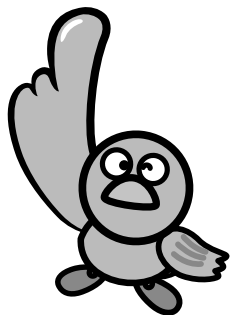
埼玉県のマスコット  
コバトン

---

この冊子は子供のケータイ・スマホ利用について、その必要性や  
利用方法を家庭で話し合うことを目的に作成しました。

---

県民生活部 青少年課



## 保護者の皆様へ

携帯電話・スマートフォンには  
フィルタリングをかけましょう！

法律では、保護者は、携帯電話を18歳未満の青少年が使用する場合には、その旨を申し出る義務があり、携帯電話事業者は保護者が利用しない旨を申し出ない限り、フィルタリングサービスを提供する義務があります。

### 埼玉県青少年健全育成条例

- 正当な理由がない限り、フィルタリングサービスを外すことが出来ません
- スマートフォンの無線LAN利用について
  - ・ 携帯電話事業者は説明義務
  - ・ 保護者は、携帯電話事業者の説明を聞く義務
  - ・ 県は、事業者や保護者等の取組への協力義務

## フィルタリングを設定をしましょう

- ① WEB用のフィルタリングを導入・設定しましょう
- ② アプリ用のフィルタリングを設定しましょう
- ③ ゲーム機・タブレット端末・携帯音楽プレイヤーには、ペアレンタルコントロール機能を積極的に利用しましょう

## 子供安全見守り講座テキストの使い方

このテキストは親子で携帯電話・スマートフォンの必要性や利用について考えるために作られました。  
本書では、次のような手順で話し合いを進めていけるように構成されています。

### ① 子供のネット利用環境を知りましょう

家庭でどのようにインターネットを使っているか再確認しましょう。  
ひょっとしたら見落とししている所があるかもしれません！

### ② 利用の目的を子供と一緒に考えましょう

せっかくの便利なツールも目的があいまいだと気付かぬうちに落とし穴に落ちてしまいます。どんな目的で使うのか、そこにどんな落とし穴が待っているのかチェックしてみましょう。

### ③ 生活環境を整えましょう

携帯電話・スマートフォンの利用は子供の生活に密着しています。持たせる前も、持たせた後も子供の生活習慣を整えることはとても大切なことです。

### ④ 子供の成長を中心に考えましょう

今後の携帯電話・スマートフォンの利用について、ルールや使い方を決めて、親子で繰り返し話し合えるようにしましょう。

以後、この冊子では、従来型携帯電話とスマートフォンの両方を指す場合「ケータイ」（携帯型情報通信機器の略）と称します。

## インターネットに接続できる機器の使い方を確認しましょう。

次の端末を子供は普段どのように使っていますか？  
安全な利用環境が整っているかチェックしてみましょう！

### パソコン



- 家族で使うPCがある
- 画面が家族の目に触れやすい場所で使っている
- フィルタリングがかかっている
- メールの送受信をしている

### タブレット



- 使う場所を決めている
- アプリのインストールには親の許可が必要
- フィルタリングがかかっている
- 使いすぎに注意している

### Wi-Fi



#### 持ち運びのできる機器に要注意

無線LAN接続は電波の届く範囲ならどこでもネットにつながる事が出来ますが、逆に親の知らないところでネットにつながる心配が増します。  
子供の成長に合わせてネットを使える環境を整えるように注意しましょう。

### ゲーム



- 使う場所を決めている
- ネットからのダウンロードには、親の許可が必要
- ペアレンタルコントロール機能を利用している
- 使いすぎに注意している

### 音楽プレイヤー



- 自転車乗車中には使用しない
- アプリのインストールには親の許可が必要
- フィルタリングがかかっている
- 使いすぎに注意している

#### 身近なネット利用環境の落とし穴

##### 1. 意外なネット接続スポット！

ショッピングセンターやコンビニ、公民館など、家の外でもネット接続環境（Wi-Fi）が増えています。

##### 2. 全ての電子機器はネット接続可能になる！

これからはあらゆる機器がネット端末として使われます。契約の無いスマートフォンもWi-Fi通信を使えばネット端末になります。

##### 3. 保護者の端末を使えばノーガード！

子供が保護者の端末を使えばフィルタリング機能の無い状態でネットを使うことになります。

## ■ スマートフォンをどんなことに使いたいですか？

子供は、どのような目的でスマートフォンを使いたいのでしょう。親は、子供にスマートフォンをどのような目的で使用してほしいと思っていますか。一緒に考えましょう（まだ持っていない人も考えてみましょう）



### 【親子でチェック】

必要・・・2点    なくてもいい・・・1点    いらない・・・0点

#### 1 連絡する

- ・電話で連絡をする
- ・メールで連絡をする
- ・グループでチャットをする
- ・写真や動画を特定の人に送る



親 子

— —  
— —  
— —  
— —

#### 2 調べる

- ・わからない言葉を調べる
- ・ニュースや天気予報を見る
- ・電車の時刻等を調べる
- ・ナビの代わりに使う

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

#### 3 遊ぶ

- ・ゲームをする
- ・音楽をきく
- ・動画を見る（テレビ機能を含む）
- ・電子書籍を読む（マンガも含む）

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

#### 4 記録（記憶）する

- ・日記や文章を記録する
- ・写真や動画を残す
- ・電話番号やアドレスを記録する
- ・予定を記録する

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

#### 5 広げる（共有する）

- ・出来事や文章をアップする
- ・写真や動画をアップする
- ・新しい友達をつくる
- ・他の人の情報にコメントする

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

#### 6 道具の代わりとして使う

- ・目覚まし時計として使う
- ・計算機として使う
- ・写真や動画をとるために使う
- ・ライトとして使う

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

それぞれのグループの合計点数を記入しよう

	1	2	3	4	5	6
子						
親						

点数のかたよった箇所や、親子で点数の差が大きかった箇所があったら、具体的にどのように使うのか話し合ってみましょう。

次は具体的な問題点を見てみましょう



ケータイに頼らない力 ～地域の人にも不審者に?～



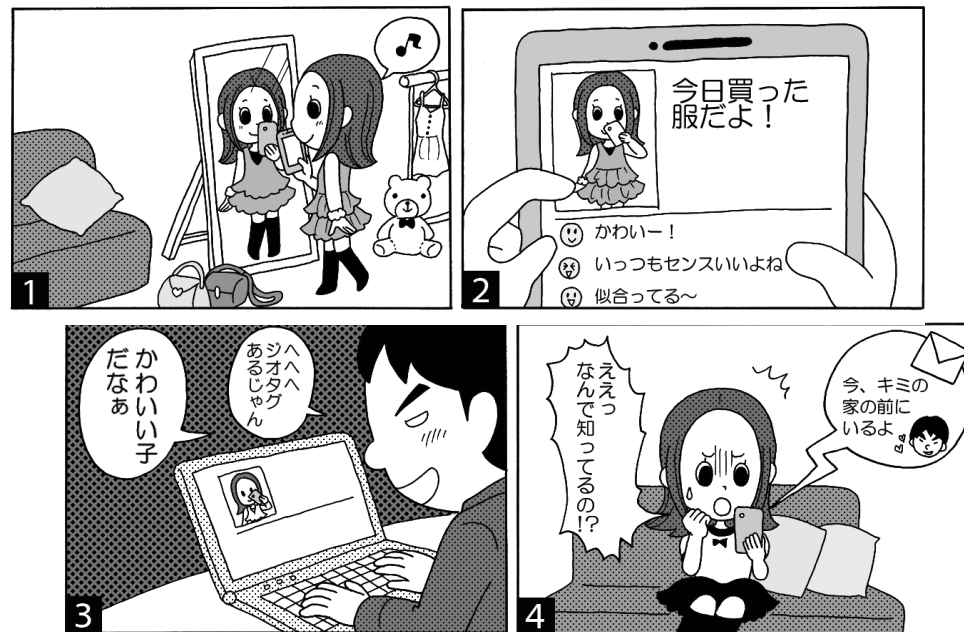
子供たちの安全は家庭・学校・地域で守る

「塾帰りのお迎え」「子供が困ったとき」何かあれば保護者とつながるホットラインは、保護者にとって安心できます。しかし、安心と安全は別物です。いざと言うときに子供を助けるのは通信ではなく行動です。登下校の様子も含め、子供の安全を守るためには、周囲の大人に頼れる地域づくりが不可欠です。

こんな時、どうしますか？

- ・ 仕事中に防犯ブザーが使われたことを伝えるメールを着信した。
- ・ 帰りが遅いので、メールをしたが全く返信がない。
- ・ 災害時、保護者のケータイが使えなかった。

見えないつながりがいっぱい ～情報漏えいに注意!～



※ジオタグ=撮影した画像に記録された位置情報のこと。GPS をオンにして撮影すると自動的に記録されます。

知らなかったでは済まないネットの危険

気軽にインターネットが使えるようになってから、日記やアルバムなどをインターネットに投稿することが増えました。ところが投稿した情報が原因で発信者個人が特定されて嫌がらせを受けるケースが増えています。交換日記や写真と違いインターネットは誰にでも見られる可能性がある事を忘れてはいけません。

こんな時、どうしますか？

- ・ 子供の写真をネット上で見つけてしまった。
- ・ 子供から、友達 5人と一緒に撮った写真を発信してもよいかと聞かれた。



### 情報発信には責任を持つ

インターネットはマスコミのように多くの人に情報を伝えることができる力を誰にでも与えてくれます。一方、一時の感情や思い込みで発信した情報により、騒ぎになることもあります。「自分は冗談のつもりだった」「これくらいなら大丈夫だと思った」「皆に自慢したかった」などの気持ちでネットを使うのは大変危険です。

情報発信に責任を持つ姿勢を身につけましょう。

こんな時、どうしますか？

- ・子供がツイッターの投稿にはまってしまい、毎日書き込みをしています。最近では写真も気軽にアップしているようです。



### 子供に「今」身につけさせたいこと

スマートフォンは携帯電話よりもさらに、一人一人の行動を効率化するために使われています。忙しい大人にとって、これまで長い時間をかけて行っていたことが、短時間でできるということはとても魅力的です。

では、子供はどうでしょうか。身体を使って友達と遊んだり、長い時間をかけて調べ物をしたり、何度も失敗しながら物事を成し遂げるような体験をしながら子供は成長していきます。

こんな時、どうしますか？

- ・子供に「検索すれば何でもわかるのに、どうして勉強が必要なの？」と聞かれた。

## ■ ケータイの何が問題なの？

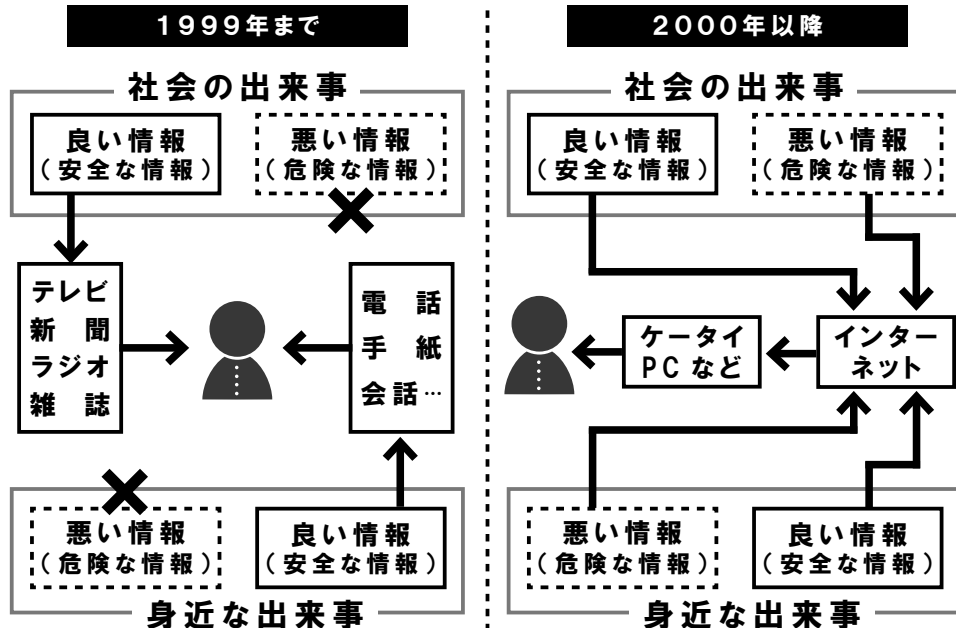
ケータイは大変便利なものですが、同時に危険なものでもあると言われます。果たして何が問題なのでしょう？子供のケータイ利用問題に詳しい専門家に話を聞いてみました。

話し手： NPO 法人青少年メディア研究協会代表 下田太一氏



最近「親の知らないところで子供が世界とつながる」と言われますよね。それって以前は考えられないことでしたね。

今までは情報の伝わり方が非常に限定的だったので、つながってはいけな人とか、危険な情報は、望んでも得ることが難しかったです。世の中にはテロ情報やわいせつ画像、陰口など、たくさんの「知ってはいけない情報」がありますが今まではそれらが簡単に伝わりませんでした。親が子供に伝えるべき内容がある程度把握できたわけです。だから安心だった部分もたくさんあります。



子供はなぜトラブルに遭ってしまうのでしょうか？

自由に情報を得られることは基本的には良いことです。しかし、社会常識が、未熟な子供たちにとっては、判断に迷ったり、情報を鵜呑みにしたり、誤解したりしてしまい常に危険ととなり合わせです。子供たちの中で起こる問題の多くは、こうした思考や判断の限界を超えたことが原因です。



では子供にとってケータイは危険なものなので、使わせないほうが良いのでしょうか？

ケータイは非常に自由度の高いメディアです。ケータイを使って何をしたいのか？また、それは子供を成長させるものなのかを評価しなければいけません。時にはケータイが無いから学べる事、成長できる事もたくさんあります。親や周囲の大人が、これらを見極めることが出来るかが問題です。



それでは大人はどのようにかかわっていったらよいのでしょうか？

子供には情報を吸収し伸びようとする高い能力がありますが、その方向性は定まっていません。ケータイは世界を知り知識を広げる道具でもあれば、逆に考えたり悩んだりする経験を奪う道具でもあるのです。子供にとってケータイを良い物にするか危険な物にするかは、子供に対する保護者や周囲の大人の関わり方次第なのです。

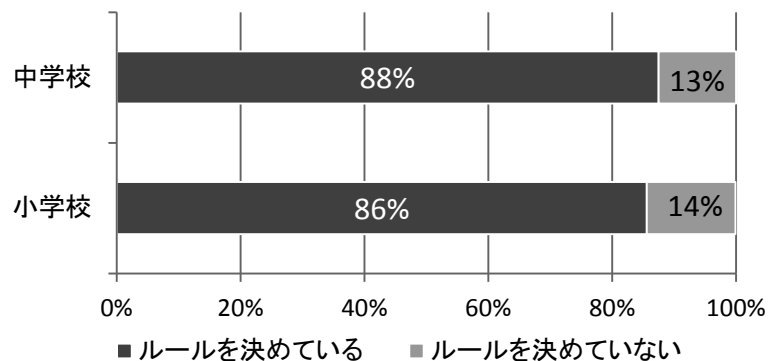


子供にどのような環境を用意できるかが肝心なのですね。ありがとうございました。

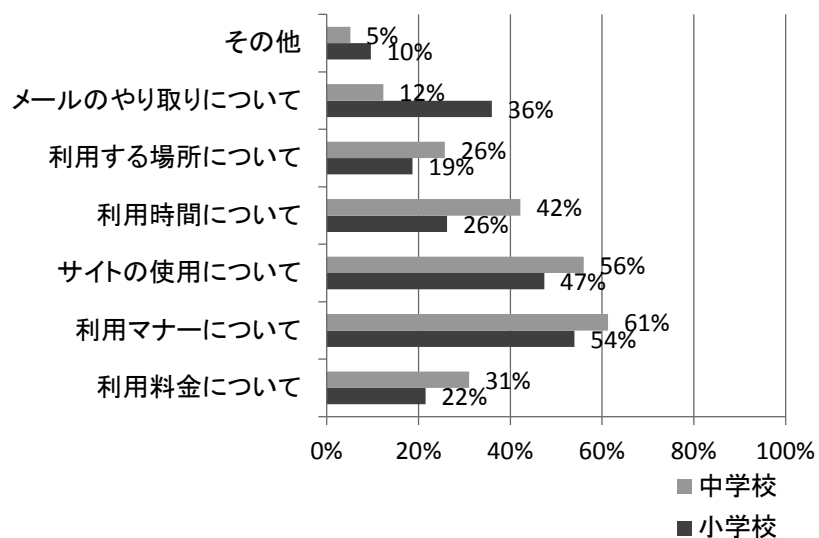
## ■ 家庭のルールを決めていますか？

平成26年度埼玉県携帯電話に関する保護者意識調査の結果から  
※小学校2417名・中学校1260名の保護者を対象

**Q** あなたは、お子さんが携帯電話を使うことについて、何かルールを決めていますか

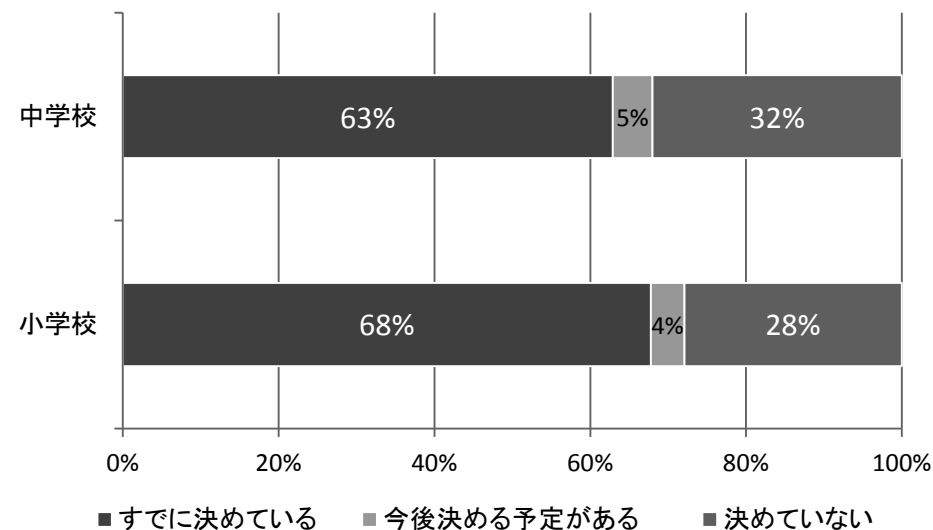


**Q** どのようなルールですか



## **Q** 小中学生に聞きました。家庭内で携帯電話利用のルールを決めていますか

平成26年度埼玉県児童生徒における携帯電話の利用状況等に関する調査  
※小学校6年生24281名・中学校2年生13704名の児童生徒を対象



### ケータイのルールは誰のため？

この調査から、ルールに関する認識が、親と子で違うことがわかります。ケータイのルールに限らず、家庭では親と子の約束事は、たくさんあります。どのような約束事も、子供が『自分のためになっている』と認識しなければ、守ることはできません。

ケータイのルールを決める事は、同時に生活習慣を正すことでもあります。ルールを守ろうとすれば、おのずと日頃の生活習慣がよい方向に変化していきます。

そのためには、親子で何度も話し合いが必要です。



一緒に考えましょう！ケータイの使い方  
～友達や家族のこんな使い方、どう思いますか？～

【親子でチェック】

よくない・・・2点 あまりよくない・・・1点 気にしない・・・0点

1 使う場面（使用時間）

- ・夜、寝る直前まで使う
- ・食事中・勉強中に使う
- ・人と話をしながら使う
- ・歩きながら使う



親 子

— —  
— —  
— —  
— —

2 使う場所

- ・学校に持ち込んで使う
- ・家の中で一人になれる場所で使う
- ・電車やバスの中で使う
- ・コンビニやショッピングモールで使う

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

3 使う目的

- ・相手に直接言えないことを伝える
- ・「無料」アプリを使う
- ・チェーンメールを回す
- ・知らない人とメールでつながる

親 子

— —  
— —  
— —  
— —

それぞれのグループの合計点数を記入しよう

	1	2	3
子			
親			

点数のかたよった箇所や、親子で点数の差が大きかった箇所があったら、具体的にどうしてなのか話し合ってみましょう。

話し合った内容を整理しながら、どんな使い方が良いかまとめてみましょう。

1 使う場面について話し合いましょう

子供の考え

親の考え

2 使う場所について話し合いましょう

子供の考え

親の考え

3 使う目的について話し合いましょう

子供の考え

親の考え

ケータイはどこにでも持ち歩けるため、保護者の見えないところで、様々な危険につながってしまいます。子供を守るためにどんな見守りが出来るのでしょうか？

## ■ 一日の生活を振り返ってみましょう

ケータイを1日の中でどのように使用しているか振り返ってみましょう。

(持っていない人は携帯ゲーム機について記入してください。)

記入例 (この記入例は生活のモデルではありません)

6:00	7:30	16:00	18:00	20:00	22:00
睡眠	朝食 スマホ	学校	スマホ 学習 家庭 スマホ	夕食 入浴	テレビ スマホ
					睡眠

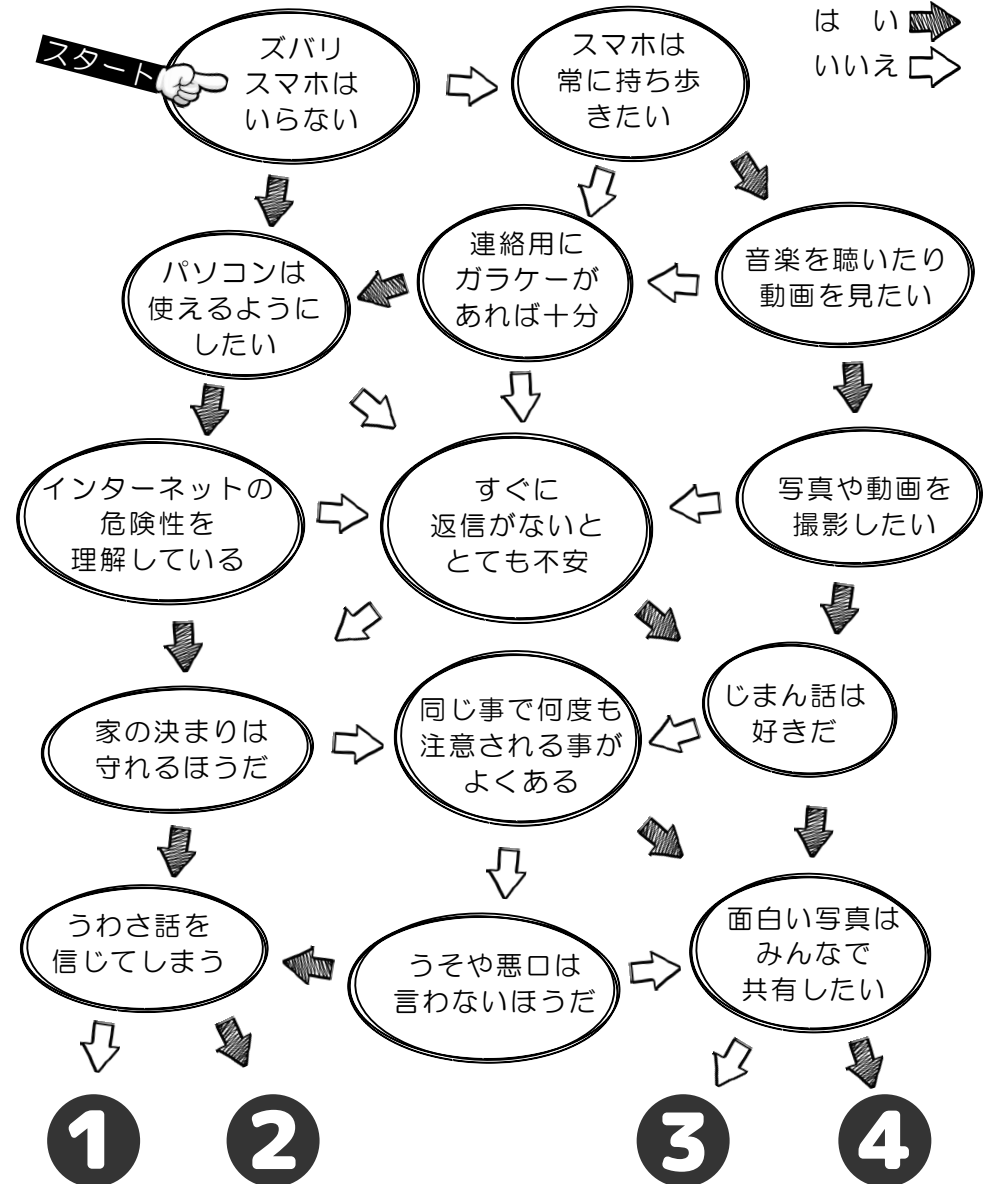
私の一日 (平日)


私の一日 (休日)


☆ケータイの使い方について話し合ってみましょう

- 一日の生活を振り返り、改善するところを赤で書き直してみましょう
- 親子の使い方の違いや目的について話し合ってみましょう
- ケータイやゲーム機が無かったら何をしているかも話し合ってみましょう

## 親子でやってみよう！ スマホユーザー診断



親子でどんな回答をしたか振り返ってみましょう。

### チャートの解説

1

素晴らしい!! ネットの情報に惑わされることなく、自分の考えを持って生活できています。スマホに頼らない生活を心がけましょう。



2

ネット上の情報には注意が必要です。「無料」「特別」などという言葉に踊らされないように。迷ったら、保護者に相談しよう。



3

スマホでの友達とのやり取りには、要注意。大切なことは直接会って伝えること。決して悪口を書き込んだりしないこと。



4

好奇心旺盛! スマホはいろんなことができる機器。どんなことに使うか決めてから使いましょう。しっかりルールを決めましょう。



スマホを使うには好奇心だけでは不十分です。自分の欲求を上手にコントロールできる自制心と、深く・広く物事を考えることができる判断力、そして自分の行いに対して社会の一員として責任感を持つ責任能力が求められます。今のあなたには、どれくらい備わっていますか?

身につけていますか?

子供がケータイを安全に利用する力

普段の生活を振り返ってみましょう。  
次のことはどれくらいできていますか?

### 1 自制心

- 親との約束を守ることができる
- まず、やるべき事を優先する
- おこづかいの管理ができる
- 食事中テレビを見ない

### 2 判断力

- 危険なところにむやみに近寄らない
- 他人の悪口を言わない
- うわさ話を簡単に信用しない
- 「無料」と言われても、すぐに手を出さない

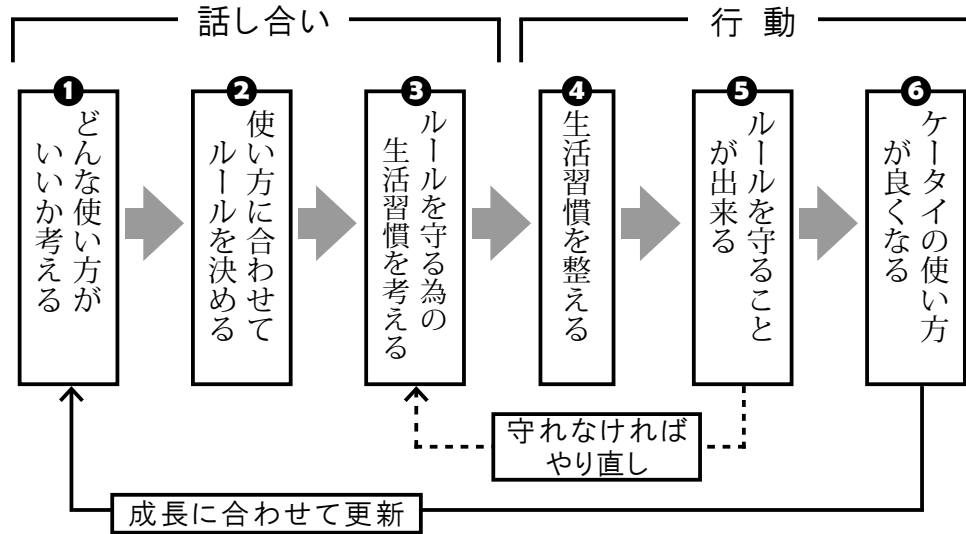
### 3 責任能力

- 嘘をついたりごまかしたりしない
- 頼まれた手伝いを、最後までできる
- 兄弟や、小さい子供の世話をする
- 自分の部屋をいつもきれいにする

ケータイを使う能力は、ケータイを使う為に身につけるものではありません。普段の生活習慣や態度を良くすることが、ケータイを使える力になるのです。

## ■ 我が家のルールを作ろう！

ケータイ中心の生活に陥り、大切なことがおろそかにならないよう、家庭でルールを決めることは大変重要です。特に、ルールを決める際は生活習慣を考える事が重要です。そして決めたルールは子供が守れるようしっかり見守り、繰り返し指導することが大切です。



### 参考例

#### 我が家のルールを書いてみよう！

- ① 夜9時以降は使用しない
- ② ネットの決済は、親に頼んでクレジットカードを使う
- ③ 固定電話やPCも活用する
- ④ ○○しながらケータイを使わない

#### 上記のルールは何の為に決めましたか？

- ① 落ち着く時間を作る為（早寝早起きにもつながる）
- ② 金銭問題を抱えない為
- ③ パソコン操作や固定電話の扱いも覚えて欲しい為
- ④ ケータイに振り回されないでほしいから

## 我が家のルールを書いてみよう！

## 上記のルールは何の為に決めましたか？

## 「相談窓口」について 困ったときは、専門機関に相談しましょう。

○【いじめ、不登校、学校生活、性格等に関する相談】 県立総合教育センター 「よい子の電話教育相談」（毎日24時間） 小・中・高校生・青少年及びその保護者	(保護者用) 048-556-0874 (子供用) 0120-86-3192 (Eメール相談) soudan@spec.ed.jp (FAX相談) 0120-81-3192
---	---

## インターネットを使った犯罪に関するもの

○埼玉県警「けいさつ総合相談センター」 月曜日～金曜日、8時30分～17時15分 ※夜間及び土曜日・日曜日・祝日及び年末年始は、 警察本部代表電話「048-832-0110」または 最寄りの警察署に電話してください。	電話番号：#9110版 (ダイヤル回線及び一部のIP電話不可) または048-822-9110 ※インターネット上のトラブルの解決を支援 するサイト「インターネット安心・安全相談」 <a href="http://www.npa.go.jp/cybersafety/">http://www.npa.go.jp/cybersafety/</a>
--	---

## 架空・不当請求の相談に関するもの

○埼玉県消費生活支援センター 月曜日から金曜日 午前9時から午後4時まで 川口のみ土曜日の相談を受け付けている。 ※祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く	【川口】048-261-0999 【川越】049-247-0888 【春日部】048-734-0999 【熊谷】048-524-0999
---	---

## インターネット上の有害情報に関するもの

○インターネット・ホットラインセンター	<a href="http://www.internethotline.jp/">http://www.internethotline.jp/</a>
○違法・有害情報相談センター	<a href="http://www.ihaho.jp/">http://www.ihaho.jp/</a>

## チェーンメール・迷惑メールに関するもの

○迷惑メール相談センター	<a href="http://www.dekyo.or.jp/soudan/">http://www.dekyo.or.jp/soudan/</a>
--------------	---

### 「伝えよう！ 知った人から知らない人へ」

インターネットの危険性と保護者の役割を啓発する講座

「子供安全見守り講座」へのお申し込みは

埼玉県庁ホームページ→「子供安全見守り講座」で検索

電話番号 048-830-2904（埼玉県庁青少年課）



埼玉県のマスコット  
さいたまっち

制作：埼玉県青少年課

協力：NPO法人青少年メディア研究協会  
合同会社ロジカルキット